

としよ館だより

第2号

2022年7月19日

夏休み中の図書館について



図書研修部

夏休み特別貸し出しのお知らせ

夏休みに向け、特別貸し出しをしています。

返却期間：8月29日（月）2学期始業式まで

貸出冊数：無制限！！



長い夏休み。朝読書ではなかなか

読めない長編小説などに、挑戦してみませんか。

夏休みの開館日のお知らせ

夏休み中の、図書館の開館は、以下のとおりです。

開館日：7月22日（金）～7月28日（木）

8月1日（月）～5日（金）

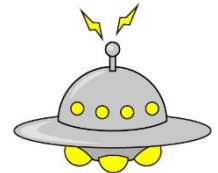
8月16日（火）～26日（金）

（土日は除く）

開館時間：8：30～17：00

読書に、学習に、涼みに、

どうぞご利用ください。



© GAK

図書の紹介(エッセイ)

「さばの缶づめ、宇宙へいく(小坂康之、林公代・イーストプレス)」を紹介します。

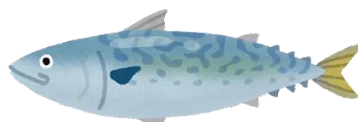
いまから約15年前、当時学校の存続が危ぶまれていた福井県立小浜水産高校で、地元で捕れるマサバでつくっているサバ缶にヒントを得て、ある生徒の「宇宙食つくれるんちゃう？」の一言がきっかけでサバ缶の宇宙食づくりが始まった。サバ缶は水産高校では定番の実習製品である。(ちなみに島根県にある隠岐水産高校、浜田水産高校でもこのサバ缶は作られており、とてもおいしいので、ぜひ一度食べてみてほしい。さらに1缶200円で本校校長先生が販売されているので、皆さんご利用ください。)



このサバ缶が宇宙へ旅立つまで15年かかったのだ。なぜか？宇宙食と認定されるまでには多くの壁がある。その壁を乗り越えなければならなかったからだ。製造工程の問題、この製造工程改良にかかる資金の問題、宇宙でする食事情の問題など数多くの問題をクリアしていかなければならなかった。それらを無事クリアし、サバ缶は宇宙へ旅立ち2020年11月27日、ISS(国際宇宙ステーション)の野口聡一さんの口に届く事になる。

ぜひ、宇宙に届いたサバ缶がどのように作られていったのかが書かれているこの「さばの缶づめ、宇宙へいく」を読んでみてほしい。

君たちの身近なところにも宇宙へ届けられるものがたくさんあるはず。この本はそのヒントをくれるかも。



紹介者 野崎 浩之